

## USB ダンパーの導入(11)

—HDD から PC への USB 入力におけるハイレゾファイル音源再生—

### 1. 始めに

前報(10)に引き続き、ヴォリュームアキュライザーの感想文により入手した USB ダンパーの効果を確認していきます。

### 2. USB ダンパーの試聴計画

今回は、Buffalo 製の可搬型 HDD から PC への USB 入力に USB ダンパーを使用します。なお、HDD に VRA-7 を貼る効果もみてみます。

可搬型 HDD→PC

音源は、HDD に収納したハイレゾおよび CD リッピング音源です。

再生ソフトは、TEAC Hi-Res Editor を使用します。

今回は、さらに HDD に VRA-7 を貼ってみます。



### 3. USB ダンパーの試聴結果

TruPhase と Langevin 6V6pp アンプには VRA-7 を貼っており、PC の USB 出力に USB ダンパーを使用していますので、USB ダンパーなしでも、これまでと違った音質で再生されています。この HDD からの再生は、前報(8)の SD メモリーおよび前報(9)の USB メモリーより音のクオリティは高いようですが、前報(10)の SSD より肌理が若干粗いように感じます。

5.6MHzDSD 録音音源の元音源は、前報(10)と同じく次のようなものです。

藤田恵美 Headphone Concert 21 ライブ配信

BPODCH ヘンデル ハープ協奏曲

モーツアルト ヴァイオリン協奏曲 3 番 (Trio Record)

グツリ指揮ミラノアンジェリクムオーケストラ

さらに SS 社の 11.2MHzDSD 音源も使用してみました。

バッハ 無伴奏チェロ組曲 シュタルケル SSHRB-005

ホルスト 組曲《惑星》

メータ指揮 ロスアンゼルスフィル SSHRB-006

HDD からの PC への入力端子に、USB ダンパーを適用しますと、SD メモリーや USB メモリーの場合と同様、藤田恵美のボーカルのニュアンスが明瞭になり、バックも含めてライブの雰囲気に戻ります。

ヘンデルのハープ協奏曲では、SD メモリーや USB メモリーの場合と同様、アンサンブルやハープの音がくっきりと浮き出てきます。

モーツアルトのヴァイオリン協奏曲 3 番は、SD メモリーや USB メモリーの場合と同様、ヴァイオリンや弦楽合奏の音の艶が乗ってきます。

バッハの無伴奏チェロ組曲は、チェロの音の分離が向上し、響きが豊かになります。

ホルストの組曲《惑星》は、音の分離と押出が向上します。

なお、前報(10)の SSD との違いは、ともにグレードが上がってきますが、SSD の方の音の肌理が細かく、今回の HDD の方がややウオームトーンになることです。

#### 4. まとめ

可搬型 HDD から PC への USB 入力に USB ダンパーを使用した効果を認めました。

以上